

近江八幡市文化財保存活用地域 計画の事例

近江八幡市総合政策部文化観光課
才本 佳孝

近江八幡市の概要

- ◆市域 東西17.0km、南北20.8km
面積177.39km²(琵琶湖水面を含む)
- ◆人口 82,005人(令和4年9月30日 現在)
- ◆土地利用 市域の50%近くを農地が占める
- ◆産業 第1次産業(農業(畜産含む)及び漁業)が主要産業
- ◆観光 年間約566万人(令和元年度)
- ◆歴史文化資産 雪野山古墳、観音寺城跡、安土城跡、八幡山城・城下町、八幡商人、中山道、朝鮮人街道、W. M.ヴォーリズ、水郷



地域計画作成の背景

- ▶ 少子高齢化等の社会状況の変化により、文化財を少人数で管理される無住の寺院が増加
⇒ 後世に文化財を伝えることが困難
- ▶ 保存で手一杯で活用が十分に行えていない
⇒ 保存と活用の効率化(役割分担等)が必要
- ▶ 八幡地域と安土地域の観光客数に差がある
⇒ 八幡地域から安土地域への誘客方法の構築
- ▶ 八幡伝統的建造物群保存地区及び周辺の整備
(無電柱化、八幡堀の浚渫、看板の統一、道路舗装 等)
⇒ 歴史的風致維持向上計画策定の検討

近江八幡市の歴史文化の特徴

琵琶湖・内湖の自然が育んだ歴史文化

琵琶湖最大の島である沖島やヨシ原が広がる風景は、琵琶湖の原風景ともいべきものであり、琵琶湖畔や西の湖一帯の文化的景観として、その景観が保全されています。

陸の道・湖の道がつなく歴史文化

琵琶湖に面した地理的環境は、東山道（中山道）や朝鮮人街道などの街道や湊・浦など陸上・湖上交通の発達を促し、武佐宿をはじめ交通の要衝を形成しました。

湖東に華開く多様な仏教世界の歴史文化

中世観音信仰の一大拠点であった長命寺、山岳修験の舞台となった伊崎寺、浄土真宗の寺院など、今に至る多様な仏教世界が展開され、この地の信仰を特徴づけています。

近世都市の先がけ～六角・信長・秀次の城と城下の歴史文化

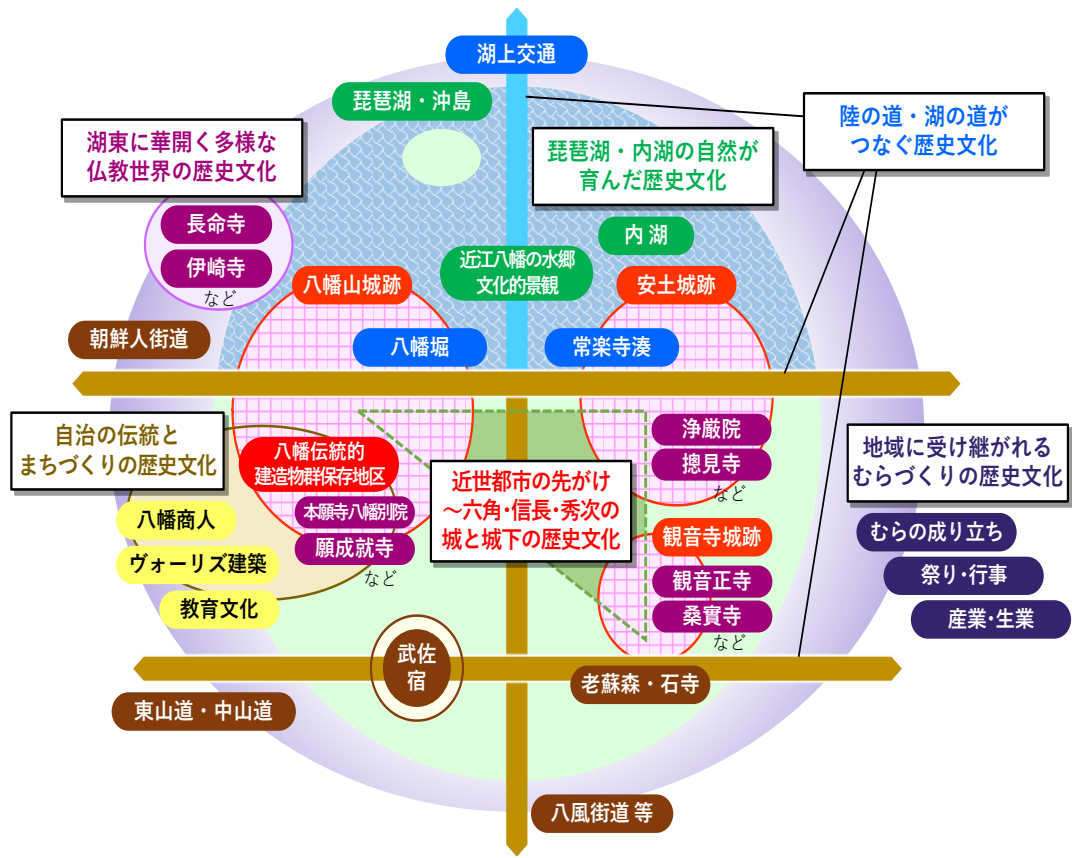
佐々木六角氏の観音寺城、織田信長の安土城、豊臣秀次の八幡山城と、近世都市の形成過程を示す為政者の城づくり・都市づくりの遺産が集積する、全国的に貴重な地域です。

自治の伝統とまちづくりの歴史文化

近世の八幡商人や、近代のW・M・ヴォーリズの活動の根底にある自治と社会貢献の精神は、本市の教育文化を育み、市民主体のまちづくりに脈々と受け継がれています。

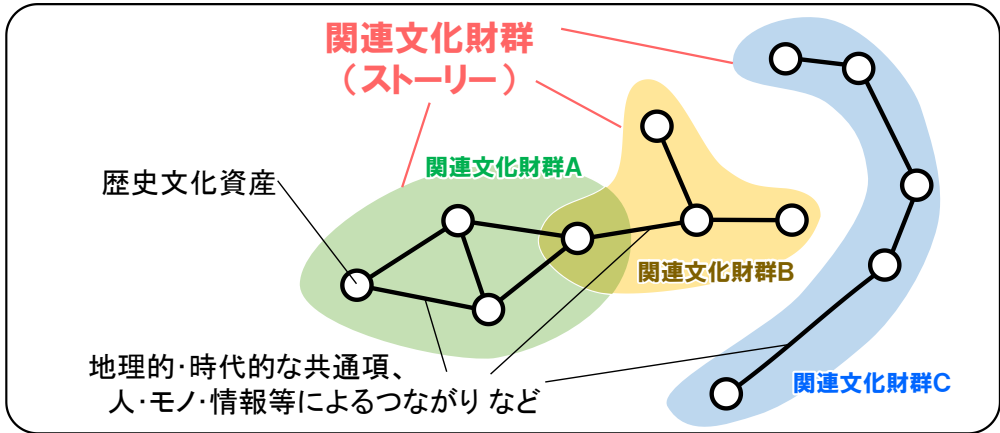
地域に受け継がれるむらづくりの歴史文化

地域の暮らしと発展を支えた村々は、ほぼそのまま現在の町に継承されており、祭りや行事、伝統産業など独自の歴史文化が、現在の地域づくり活動に活かされています。



関連文化財群（ストーリー）

歴史文化の特徴を体現する多様な歴史文化資産を、共通の背景や文脈を持つストーリーでまとめ、相互の関係性を踏まえた**一体的・総合的な保存・活用**に取り組むことにより、俯瞰的な視点から歴史文化の価値等に対する市民及び来訪者等の理解を促進し、それらを構成する個々の資産の存在意義を高めるために設定

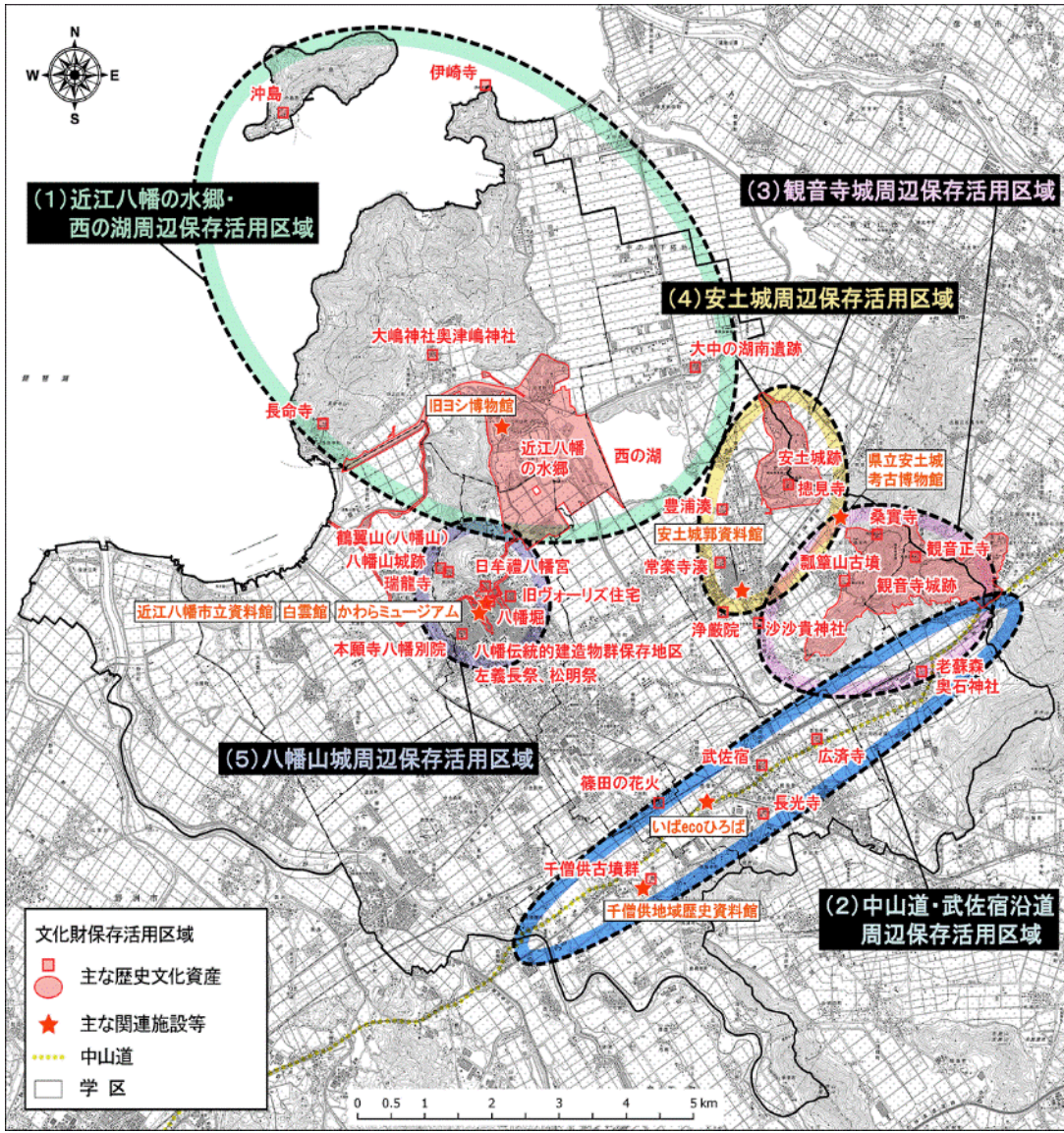
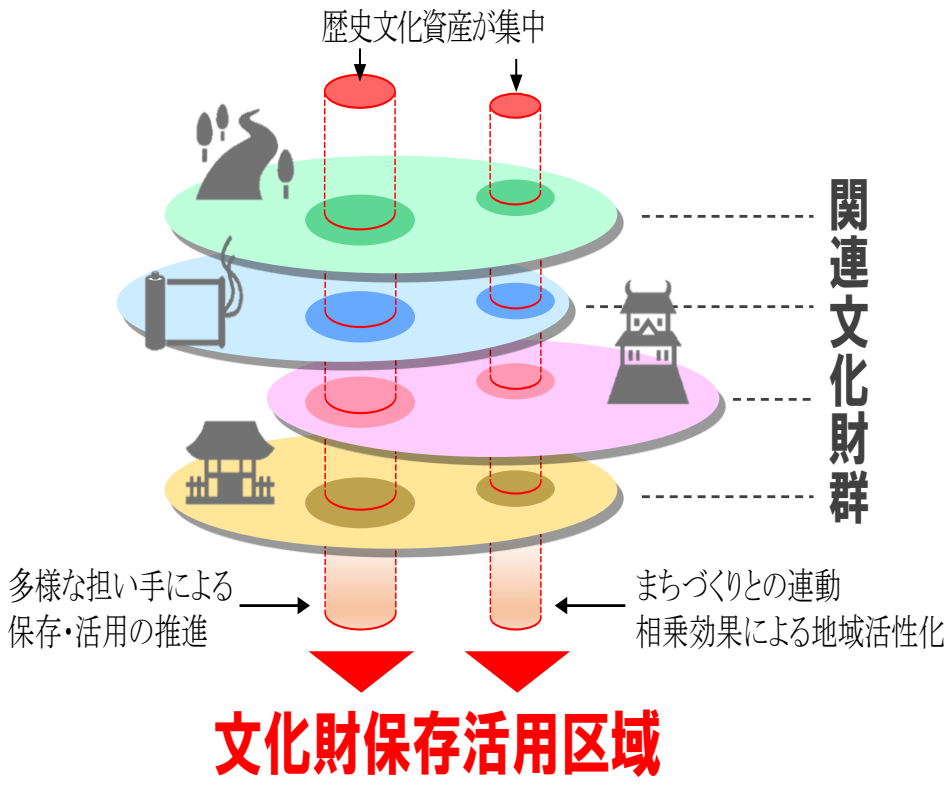


近江八幡市

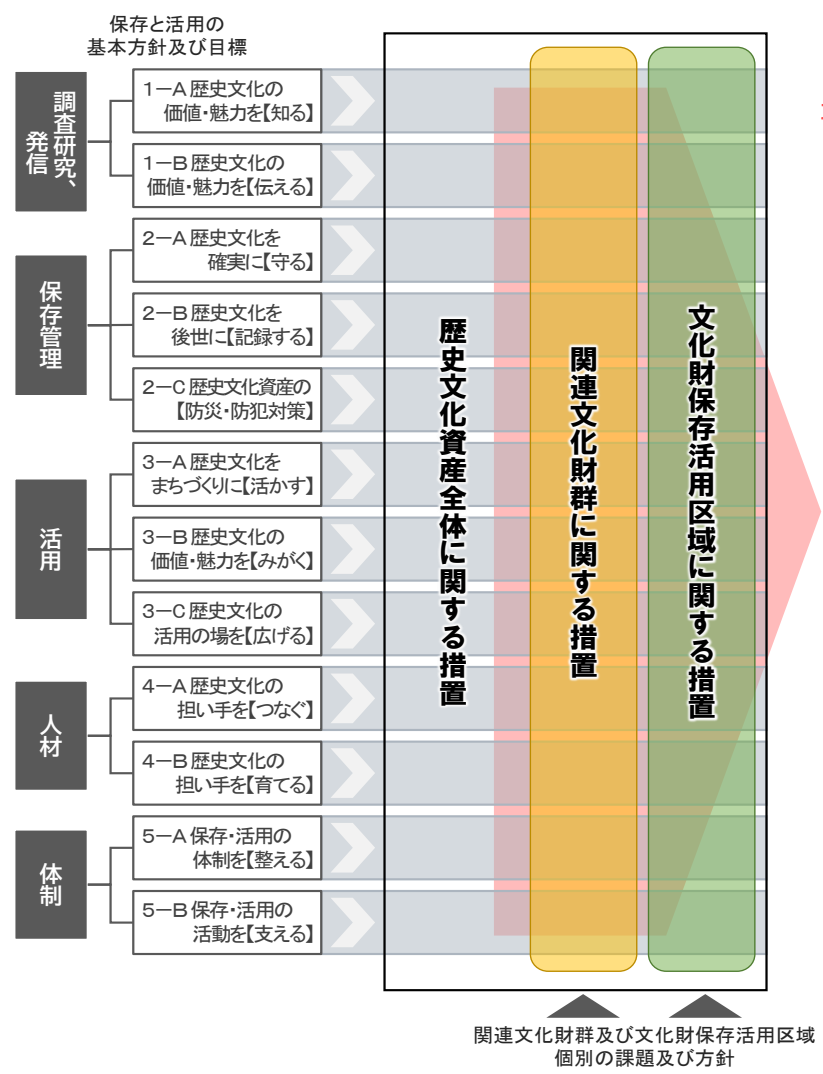
- | 歴史文化の特徴 | 関連文化財群 |
|-------------------------------|------------------------|
| 1 琵琶湖・内湖の自然が育んだ歴史文化 | (1)琵琶湖・内湖とともに生きる文化と景観 |
| 2 陸の道・湖の道がつなぐ歴史文化 | (2)街道と宿場町、湖上交通の広がりと交わり |
| 3 湖東に華開く多様な仏教世界の歴史文化 | (3)信仰と巡礼が織りなす仏教文化と美術 |
| 4 近世都市の先駆け～六角・信長・秀次の城と城下の歴史文化 | (4)佐々木六角氏と観音寺城 |
| | (5)織田信長と安土城 |
| | (6)豊臣秀次と八幡山城 |
| 5 自治の伝統とまちづくりの歴史文化 | (7)八幡商人のふるさと |
| | (8)ヴォーリスと近代化の足音 |
| | (9)八幡発展の礎を築いた教育文化 |
| 6 地域に受け継がれるむらづくりの歴史文化 | (10)多様なむらの成り立ちと暮らし |
| | (11)祭りと暮らしの中の祈り |
| | (12)暮らしを支えた匠と技 |

文化財保存活用区域

1. 近江八幡の水郷・西の湖周辺保存活用区域
2. 中山道・武佐宿沿道周辺保存活用区域
3. 観音寺城周辺保存活用区域
4. 安土城周辺保存活用区域
5. 八幡山城周辺保存活用区域



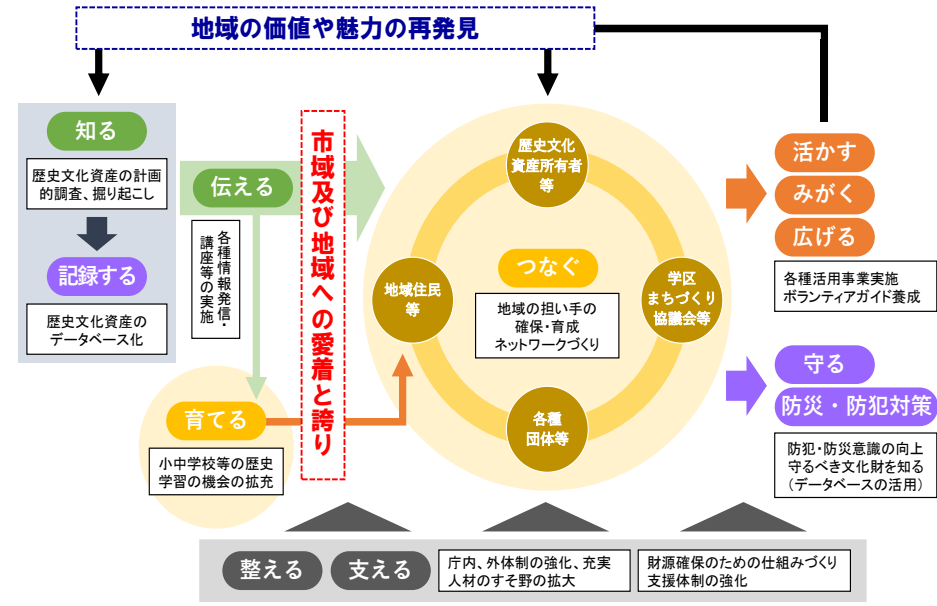
重点的に取り組む措置



計画期間内に重点的に取り組む措置 (重点措置)

- 1 人材 体制**
 地域で取り組む歴史文化資産の保存・活用の仕組みづくり
- 2 調査研究、発信 保存管理**
 散逸の危険性のある資料の調査研究及び保存
- 3 活用**
 歴史文化資産の魅力向上と観光への活用

【重点措置①】 地域で取り組む歴史文化資産の保存・活用の仕組みづくり



【重点措置②】 散逸の危険性のある資料の調査研究及び保存

- ◆ 市史編纂で収集した資料の調査研究及び保存
- ◆ 西の湖の生業に関する資料の調査研究及び保存

【重点措置③】 歴史文化資産の魅力向上と観光への活用

【重点措置③-1】 八幡山城周辺保存活用区域の整備・保存と活用

文化財保存活用区域「八幡山城周辺保存活用区域」は、本市でも有数の歴史文化資産が高密度かつ多様に集積する区域として、関連する各主体とともに一体的、総合的な保存・活用に取り組むことで、資産及び地域の魅力向上を図り、区域の観光及び地域振興を推進します。

【課題】

- ・ 伝統的建造物群保存地区の保存を図りつつ居住環境の確保が求められる
- ・ 八幡山城跡の価値等が明らかでなく、その魅力を伝えきれていない など

【方針】

- 伝統的建造物群保存地区の暮らしと魅力の両立を図る保存・活用の推進
- 八幡山跡及び城下町の価値や魅力を活かす基盤整備等の推進

【措置】

(八幡伝統的建造物群保存地区)

- ・ 伝統的建造物群保存事業
- ・ 空家等対策事業（空き町家等）
- ・ 重要文化財旧西川家住宅保存修理事業
- ・ 八幡堀ライティングプロジェクト
- ・ 伝統的建造物群保存地区緩和条例の制定など

(八幡山城跡)

- ・ 八幡山城調査事業
- ・ 八幡山竹林整備事業
- ・ 八幡山城周辺保存活用区域環境整備事業など

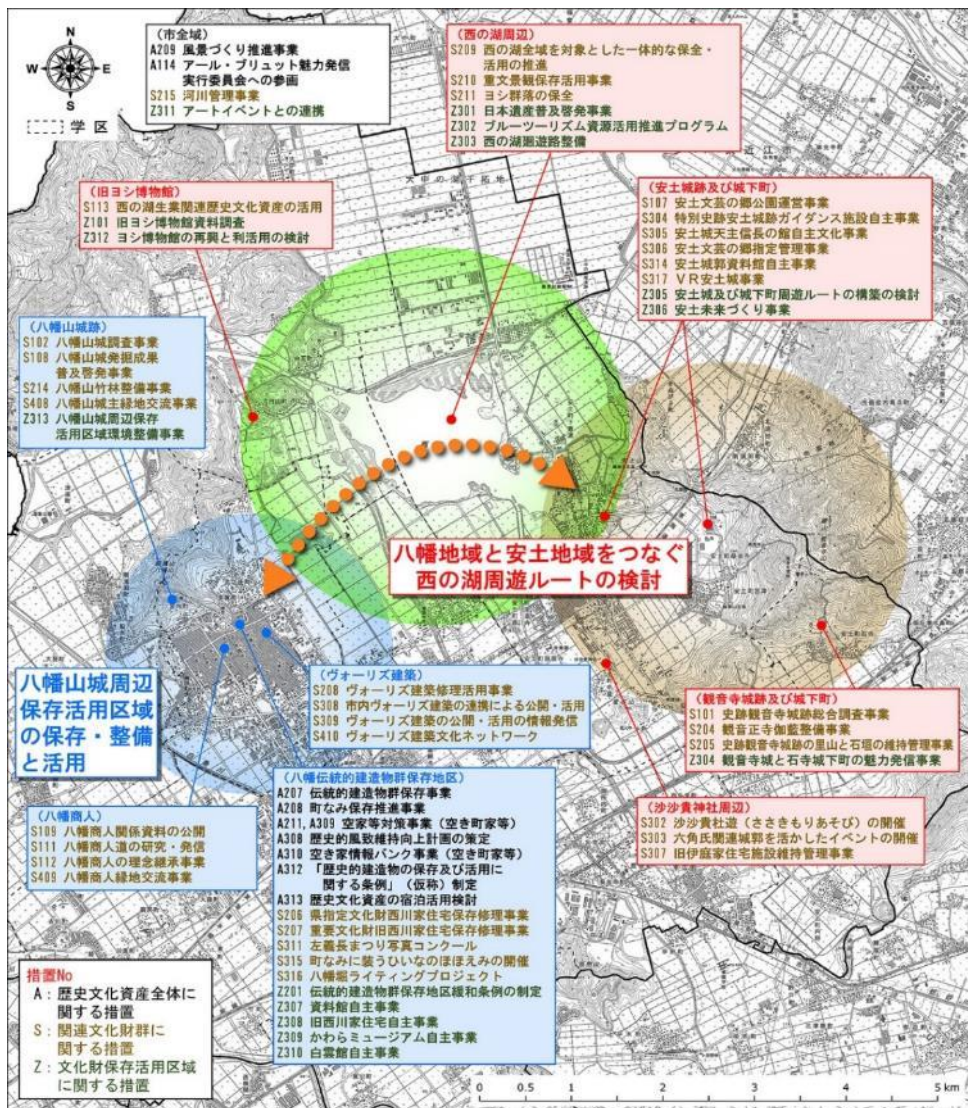
(ヴォーリス建築)

- ・ ヴォーリス建築修理活用事業
- ・ ヴォーリス建築の公開・活用の情報発信 など



【重点措置③-2】八幡地域と安土地域をつなぐ西の湖周遊ルートの検討

八幡地域（旧近江八幡市域）及び安土地域（旧安土町域）にまたがる西の湖周辺等の歴史文化資産の魅力向上及び回遊性を高める周遊ルートを開発、整備していくことで、町地域に分散している複数の観光地を結び、観光及び地域振興を推進します。



「八幡地域と安土地域をつなぐ西の湖周遊ルートの検討」関連措置一覧

基本方針	目標	No※1	既存／新規	事業名
方針1 調査研究・発信	1-A 歴史文化の価値・魅力を【知る】	Z101	新規	旧ヨシ博物館資料調査※2
	1-B 歴史文化の価値・魅力を【伝える】	S113	新規	西の湖生業関連歴史文化資産の活用※2
方針2 保存管理	2-A 歴史文化を確実に【守る】	A209	既存継続	風景づくり推進事業
		S209	既存継続	西の湖全域を対象とした一体的な保全・活用の推進
		S210	既存継続	重文景観保存活用事業
		S211	既存継続	ヨシ群落の保全
		S215	既存継続	河川管理事業
方針3 活用	3-A 歴史文化をまちづくりに【活かす】	Z301	既存継続	日本遺産普及啓発事業
		Z302	既存継続	プルーツーリズム資源活用推進プログラム
	Z303	新規	西の湖遊路整備	
3-B 歴史文化の価値・魅力を【みかく】	Z312	新規	ヨシ博物館の再興と利活用の検討※2	

（安土地域に係る施策）

基本方針	目標	No※1	既存／新規	事業名
方針1 調査研究・発信	1-A 歴史文化の価値・魅力を【知る】	S101	新規	史跡観音寺城跡総合調査事業
	1-B 歴史文化の価値・魅力を【伝える】	S107	既存継続	安土文芸の郷公園運営事業
方針2 保存管理	2-A 歴史文化を確実に【守る】	S204	新規	観音正寺伽藍整備事業
		S205	既存継続	史跡観音寺城跡の里山と石垣の維持管理事業
方針3 活用	3-A 歴史文化をまちづくりに【活かす】	S302	既存継続	沙流貴杜遊（ささきもりあそび）の開催
		S303	新規	六角氏関連城郭を活かしたイベントの開催
		S304	既存継続	特別史跡安土城跡ガイダンス施設自主事業
		S305	既存継続	安土城主信長の館自主文化事業
		S306	既存継続	安土文芸の郷指定管理事業
		S307	既存継続	旧伊庭家住宅施設維持管理事業
		S308	既存継続	市内ヴォーリス建築の連携による公開・活用
		S314	既存継続	安土城郭資料館自主事業
		Z304	新規	観音寺城と石寺城下町の魅力発信事業
		Z305	既存継続	安土城及び城下町周遊ルートの構築の検討
Z306	既存継続	安土未来づくり事業		
3-B 歴史文化の価値・魅力を【みかく】	S317	既存継続	VR安土城事業	

※1 A：歴史文化資産全体、S：関連文化財群、Z：文化財保存活用区域

※2 重点措置②「西の湖の生業に関する資料の調査研究及び保存」事業に掲載する措置

【事例】安土未来づくり事業(安土未来づくり課)

これからの安土の課題

地域団体の皆様へのヒアリング調査の結果、高齢化や人口減少が進むこれからの安土における課題が見えてきました。まずは、「安土の住民のそれぞれが大事に想う『原風景』や『原体験』を次世代へ継承していくことが、まちづくりの重要な課題である」ということ。

しかし、「安土の様々な地域活動は、これまでと同じやり方では、将来にわたって継続するのが難しい」ということ。「安土の魅力伝える取り組みをいかに続けるか」、「これからの安土を担う人材をいかに育てていくか」、「歴史的遺産をいかに活用しながら、後世に受け継いでいくか」が課題であること。多くの人々に、安土の魅力を深く知ってもらうことも重要な課題です。

安土のみなさんの力を合わせて、「稼ぐ」力も育てながら、情報発信や体験・交流のまちづくりの事業化を進め、様々な地域活動を続けられる仕組みを構築していくことが、これからの安土の地域づくりに求められています。



安土の未来を描こう！

安土に暮らす人たちは、それぞれ自分にとって大事な原体験をお持ちであることが分かりました。

季節や時間によって様々な表情に描かれる山々や西の湖、田園。

子どもの頃の記憶。長い歴史が醸し出す遺産の深み。

そして、そこを舞台とする祭りや行事、人々の生き生きとした暮らしの姿。感動した体験。

安土で暮らすからこそ体験できたさまざまな価値を掘り起こし、もう一度光をあてましょう。

「安土感動体験」をつなぐ

安土の人々があどとき感動し、大きく心に残っている原体験。これから育ていく安土の子供たちが大人になっても記憶に残るような、ふるさとの「感動体験」の機会を継続的ににつくっていくこと。安土での「遊ぶ」「学ぶ」「創る」体験を通じて、安土の魅力を日々実感し、安土に住む「誇り」を育てていくことが、安土の未来をつくっていく上で重要な目標となると考えました。

そのためには、情報の発信力を強化し、安土全体でのスケールメリットを活かして地域外からも受け入れ、体験・交流の一部を事業化して採算性を有する継続的な活動とするなど、地域団体の負担を軽減させつつ、長く続けられる仕組みをつくることが望まれます。



【事例】安土未来づくり事業(安土未来づくり課)

**安土未来づくり
アクションプログラム**

- 【歴史遺産・文化体験】プログラム
- 【自然の体験】プログラム
- 【食・農の体験】プログラム
- 【地域交流体験】プログラム

農業大学校、市内の有機農場・牧場

- 農作業体験(有機農場)
- 軽トラ直売所・朝市(農業大学校)
- 畜産インターンシップ(千成孝ファーム)
- 大中湖遺跡原始生活体験(大中湖遺跡)

西の湖すてーしょん・観光駐車場

- 西の湖遊覧体験
- 西の湖(下豊浦) コミュニティカフェ
- 西の湖サンセットクルーズ・じゅんじゅん体験
- 西の湖淡水真珠養殖体験
- 西の湖ウェルネスツーリズム
- 安土モバイル・キャンピングツアー

西の湖・豊浦港

- 舟運と水郷めぐり
- 豊浦ボート・ピアガーデン
- 西の湖テラス
- 西の湖マルシェ

西の湖(拠点: B&Gセンター、匠の里)

- 自然浴 ウェルネスセラピーツアー
- 西の湖食の体験
- 西の湖体験学習・生き物観察
- ヨシ刈り体験
- 西の湖サウナ・スパ
- 湖上ライブ

安土城址 / 「戦国時代の料理記録」

- 安土城址魅力発見・探索
- 「信長御膳」体験
- 安土デジタル・アートフェスティバル
- 安土城址マルシェ・骨董ヨガ

安土城址

- 観音寺城址発見探索
- 龍山保全体験学習
- 龍山健康ウォーキング

聖徳太子関連遺産群

- 鳥居で巡る聖徳太子の足跡探索

東家住宅

- 東家住宅ゲストハウス

安土全域(拠点: 安土コミセン、牽市楽座館)

- 安土PR映画祭、時代劇撮影ツアー
- 安土ロゲイニング
- 空き町家活用社会実験
- 安土水めぐり
- 安土古写真デジタルギャラリー&スタンプラリー
- 手作り甲冑体験
- 安土水めぐり

聖徳太子の伝承

- 老蘇酒づくり体験

杉原家住宅

- 庭園鑑賞・茶室体験教室
- 空き地・庭の活用

老蘇の水環境

- 老蘇の生き物観察

常浜水辺公園

- ヨシ舟まつり・常浜自由研究

旧伊庭家住宅

- 旧伊庭家体験
- 旧伊庭家住宅 カフェ・バー・ラウンジ

薬市楽座館

- 常楽寺コミュニティカフェ
- 手作り甲冑体験
- 箱園 VR ハッカソン
- 安土スケッチ養成講座

神社仏閣

- 戦国武将体験(新宮大社)
- 安土の神社マルシェ(沙沙貴神社)
- 安土寺子屋教室(観音正寺)

地元の店舗、工務店

- ふるさと社会見学・職場体験
- 安土木工大工体験(安土建築工房)
- 養蜂体験(安土養蜂園)

安土城址、観音寺城址、老蘇の森、教林坊

- 老蘇イルミネーションツアー

いくつかの体験プログラムについて、10月下旬から11月上旬にかけて社会実験を実施予定。

期待する効果

- ▶ **歴史文化資産の保存及び活用の計画的・効果的な推進**
 - 文化財担当部局としてしなければならないことはなにか、何を優先的に
行うか整理ができた。
- ▶ **歴史文化資産を活かした観光及び地域振興の推進**
 - 地域の人達が自分達の歴史文化資産を「知り」、「活かし」また「守る」こ
とで、地域への誇りと愛着が深まる。
 - 観光担当との連携による、保存と活用の好循環。
⇒ 歴史文化資産の文化財的価値の一層の向上
- ▶ **歴史的風致維持向上計画策定に向けた歴史文化資産の
把握(文化財保存活用区域の設定)**

目指す将来像



目指す将来像



行政・所有者・地域の人々で
地域の文化財(歴史文化資産)を
「活かし」、「守り」、
そして「楽しむ」
まちづくり